

報道関係者各位

2026年7月9日（木）
株式会社GA technologies

AI不動産投資のRENOSY、 「アニメ・漫画の消費傾向と投資に関する調査」を実施

～趣味への消費、年収より「投資の有無」が影響？
非投資家の1.8倍「計画的」にお金を動かす、推し活でも発揮される“投資脳”の実態～



株式会社GA technologies[GAテクノロジーズ]（本社:東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO:樋口龍、証券コード:3491）が運営するAI不動産投資「RENOSY（リノシー）」は、30～40代の投資家（※1）862人、および非投資家（※2）862人（計1,724人）に対して、アニメ・漫画の消費傾向と投資に関する調査を行いました。

近年、アニメや漫画など、いわゆる「推し活」が全世代的なカルチャーとして定着する一方で、政府が推し進める「貯蓄から投資へ」の流れの中、人生を豊かなものにするなどの目的で、「資産形成」への関心も高まっています。本調査は、夏の大型コミックイベントに先立ち、一見無関係に見えるアニメ・漫画をはじめとした「推し活」と「資産形成」の関係性を明らかにする目的から実施しました。

◆ 調査結果サマリー

1. 聖地巡礼やグッズ制作など、10項目すべての「推し活」（※3）で投資家がより積極的な傾向
2. 推し活への出費、非投資家は「無料中心」が最多、投資家は「計画的」が非投資家の1.8倍
3. 投資家は作品から「人生哲学」を学び、非投資家は純粋な娯楽として楽しむ傾向
4. 好きなジャンル、投資家「推理・ミステリー」非投資家「日常・ほのぼの」で異なるも、作品1位はどちらも「名探偵コナン」。アニメ・漫画を「好きではない」は非投資家が2.4倍

（※1）投資家：現在、資産形成または投資（国内・海外株式、投資信託、不動産投資、外貨預金、FX、債券、金・プラチナ、生命保険、暗号資産など）を行っている人。

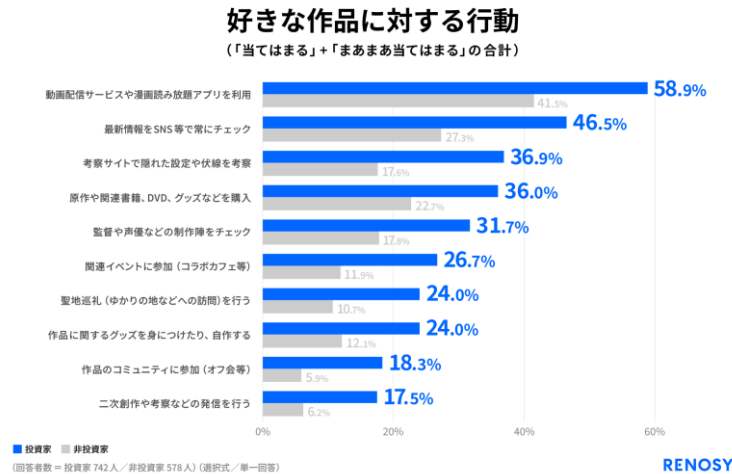
（※2）非投資家：現在、資産形成や投資を行っていない人。

（※3）推し活：最新情報の収集や設定の考察、関連グッズの購入、聖地巡礼、コミュニティ参加、二次創作の発信など、好きな作品に対して能動的に行う一連の消費・応援行動。

今回の調査では、投資家・非投資家に対して「推し活」行動の有無や、推し活への出費に対する考え方、アニメ・漫画から学んだこと、好きなジャンル・作品について質問しました。

◆ 調査結果詳細

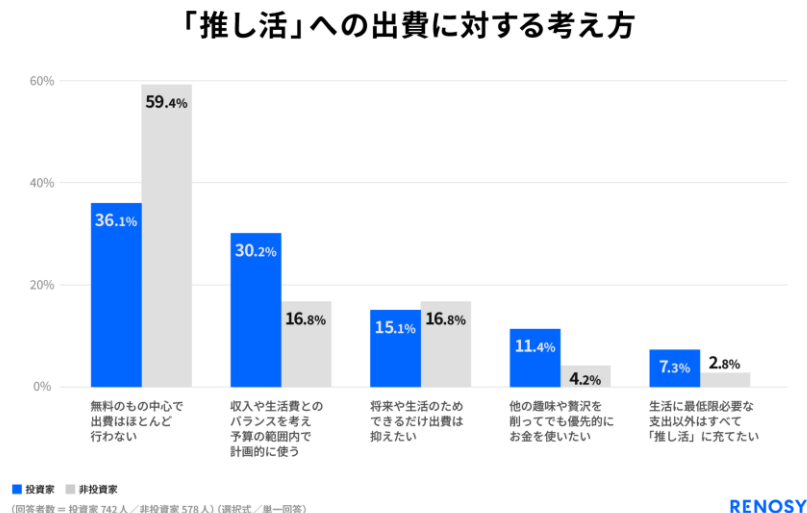
1. 聖地巡礼やグッズ制作など、10項目すべての「推し活」で投資家がより積極的な傾向



「製作陣のチェック」や「伏線の考察」、「聖地巡礼」、「二次創作」といった、いわゆる「推し活」への関与度（「当てはまる」「まあまあ当てはまる」の合計）を調査した結果、**全10項目において投資家が非投資家を上回り、より積極的な姿勢がうかがえる結果となりました。**

特に顕著な差が見られたのは行動を伴う項目で、「**作品コミュニティへの参加（投資家18.3%／非投資家5.9%）**」や「**二次創作や考察の発信（投資家17.5%／非投資家6.2%）**」といった主体的な活動において、投資家が非投資家よりも約3倍多い結果となり、投資家の持つ高い行動力が浮き彫りになりました。

2. 推し活への出費、非投資家は「無料中心」が最多、投資家は「計画的」が非投資家の1.8倍



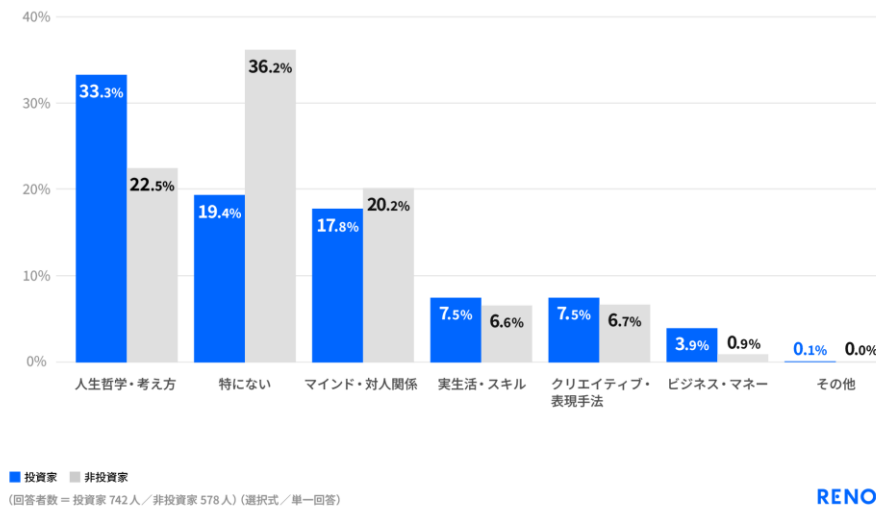
アニメ・漫画を含む推し活に対する支出の考え方について質問したところ、**非投資家は「無料中心」という回答が59.4%で最多**となり、コストを抑えて楽しむ層が過半数を占める結果となりました。一方、投資家も「無料中心（36.1%）」が最多ではあったものの、非投資家に比べその割合は約6割に留まり、代わりに「計画的に使う」との回答が30.2%にのぼり、非投資家（16.8%）の約1.8倍となりました。

さらに、「他の趣味を削ってでも優先的に使う」「すべての支出を充てたい」といった、積極的に資金を投じる層の合計（18.7%）も、非投資家（7.0%）の約2.7倍という結果になりました。

一方で、支出について「世帯年収別（1,000万円未満／以上）」に分析したところ、**世帯年収1,000万円未満で「無料中心」と答えたのが46.4%、1,000万円以上は40.9%**と、投資の有無ほどの差は見られませんでした。推し活への支出スタイルは、年収の多寡よりも、投資を行っているかどうかが大きな影響を与えていると考えられます。

3. 投資家は作品から「人生哲学」を学び、非投資家は純粋な娯楽として楽しむ傾向

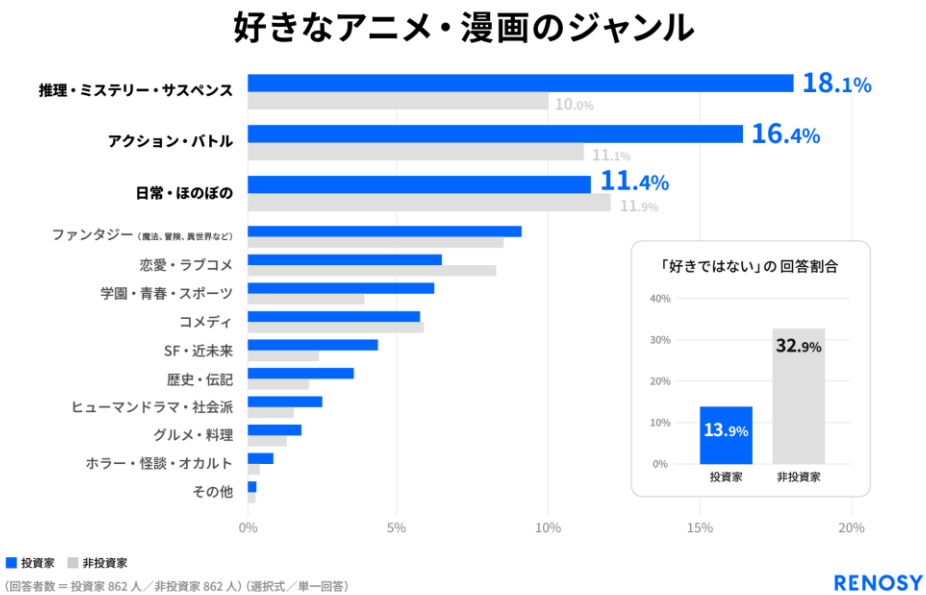
アニメ・漫画から学んだこと・影響を受けたこと



RENOSY

「アニメ・漫画から学んだこと、影響を受けたこと」を質問した結果、**投資家の最多回答は「人生哲学・考え方（33.3%）」となり、非投資家を10.8ポイント上回りました。**一方で非投資家は「特になし（36.2%）」が最多でした。非投資家が作品を現実と切り離し、純粋な娯楽として楽しんでいるのに対し、投資家層は作品のストーリーの裏側から、「人生哲学」などの学びを積極的に得ている姿勢がうかがえます。

4. 好きなジャンル、投資家「推理・ミステリー」 非投資家「日常・ほのぼの」で異なるも、作品1位はどちらも「名探偵コナン」。アニメ・漫画を「好きではない」は非投資家が2.4倍



「好きなアニメ・漫画のジャンル」について質問したところ、非投資家は「日常・ほのぼの」が最多であるのに対し、投資家は1位「推理・ミステリー」、2位「アクション・バトル」となり、投資家ほど、作品に対してドラマチックな展開や刺激を求める傾向があることがわかりました。

また、同じ質問に対して「（アニメ・漫画を）好きではない」と答えた人の割合を見てみると、投資家は13.9%に留まったのに対し、非投資家は32.9%にのぼり、約2.4倍になりました。一方で「好きではない」の回答率について、投資の有無を問わず世帯年収別（1,000万円未満／以上）で分析したところ、世帯年収1,000万円未満は20.4%、1,000万円以上は21.5%と、大きな差は見られませんでした。

なお、好きな作品については、両者ともに1位から3位まで「名探偵コナン」「ONE PIECE」「鬼滅の刃」がランクイン。人気上位の顔ぶれに大きな違いはありませんでした。

投資家			非投資家		
1	名探偵コナン	(72)	1	名探偵コナン	(57)
2	ONE PIECE	(56)	2	ONE PIECE	(48)
3	鬼滅の刃	(39)	3	鬼滅の刃	(32)
4	ドラゴンボール	(33)	4	ドラゴンボール	(30)
5	キングダム	(20)	5	SLAM DUNK	(14)

◆ まとめ

本調査により、投資家と非投資家における「アニメ・漫画」への向き合い方の違いを通じて、投資の有無によってアニメ・漫画の消費傾向に違いがあることが明らかになりました。非投資家が作品を日々のリラックスや純粋な娯楽として楽しむ一方で、投資家は「推し活」や「予算内での計画的な出費」、「能動的な学びの抽出」といった行動力やリスク管理、情報感度の高さを、アニメや漫画でも発揮している姿がうかがえました。

一見すると異なる領域にあるように思われる「趣味」と「資産形成」ですが、実は個人の行動力や思考スタイルにおいて、深く重なり合っていることがわかりました。

RENOSYではブランドビジョン「不動産による資産形成を、あたりまえにする。」の実現を目指し、一人ひとりのライフスタイルや価値観に寄り添いながら、資産形成をより身近に感じていただける情報を今後も発信してまいります。

◆ 調査概要

調査期間：2026年5月14日（木）

調査パネル：株式会社GA technologies調べ、株式会社プロダクトフォース ユニリーサーチを利用

対象：30代～40代の男女

回答者数：3,503人 有効回答者数：1,724人

調査方法：インターネット調査

※本プレスリリースに記載されている会社名・団体および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

※本内容をご紹介や引用いただく際は、出所を明示していただきますようお願いします。

記載例：RENOSY調べ「アニメ・漫画の消費傾向と投資に関する調査」

◆ AI不動産投資「RENOSY（リノシー）」

「RENOSY（リノシー）」はテクノロジーを活用したAI不動産投資サービスです。購入・管理・売却をワンストップで提供することで安心・簡単・最適な不動産による資産形成を実現し、運用効果を最大化します。東京商工リサーチが行った調査では、不動産投資における物件売上実績・物件買取実績ともに全国No.1（*1）を獲得しています。

（*1）株式会社GA technologies「AI不動産投資のRENOSY、投資用マンションおよびアパートの売上実績で2年連続全国No.1を獲得」

（2026年3月31日発表）https://www.ga-tech.co.jp/news/wherjxrzxv88n_r/

◆ GAテクノロジーズ概要

社名：株式会社GA technologies

代表者：代表取締役 社長執行役員 CEO 樋口 龍

URL：<https://www.ga-tech.co.jp/>

本社：東京都港区六本木3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー40F

設立：2013年3月

事業内容：

- ・AI不動産投資「RENOSY」の開発・運営
- ・不動産業界向けBtoBプラットフォーム「ITANDI」の開発・運営
- ・PropTech領域におけるプラットフォーム事業の開発

主なグループ会社：イタンジ株式会社、RW OpCo, LLCなど計32社 ※他、RW OpCo, LLC以下に28社